

平成29年2月27日

各 位

公益財団法人食の安全・安心財団
理事長 唐木 英明

第22回 公益財団法人食の安全・安心財団意見交換会のご案内

地域資源から地方創生を考える意見交換会 ～実需者と産地の連携による地域資源の発掘と地域活性化～

拝啓 貴社ますますご繁栄のことと存じます。

さて、当財団では、標記意見交換会を開催するはこびとなりました。

昨今、人口減少・地域間の経済格差等を背景に、地域活性化が喫緊の課題となっております。地域資源、なかでも伝統野菜あるいは特産品は地域の産地形成に寄与する可能性が大きいと考えられ、これら地方の食材は地域振興の大きな要として期待されているところです。

しかしながら、中山間地域における深刻な鳥獣被害、担い手不足、耕作放棄地・遊休農地等の増加、農業技術継承の課題等、地域特産品の栽培・加工が継続して実施されるには大きな壁も存在しております。

消費者の国産嗜好の増加等も背景に、実需者と生産者の連携は、実需者にとっては地域の優れた食材調達とともにその地域の食文化の把握のためにも、また生産者にとっては実需者との円滑なパートナー関係の構築を通じた産地の持続的発展のためにも、実需者・生産者双方にとって今後ますます重要な課題となってくると考えられます。

本意見交換会は、地域食材の掘り起しを起点とした産地と実需者の連携事例から、地域における今後の持続的発展に向けた課題、今後、地域の発展に向けてどのようなことが必要なのかについて、幅広い関係者と情報を共有するとともに意見を交換するものです。生産者と実需者の連携を通じ、地方食材が地域に根付き地域の活性化へと発展していくには、どのような仕組みが必要なのか等について、ご参加の皆さんも交えてご議論頂きます。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. 日 時： 平成29年3月15日（水）14：00～16：30
2. 会 場： 世界貿易センタービル 3階 「ルームB」
〒105-6103 東京都港区浜松町 2 丁目 4 番 1 号
3. 参加費：無料

4. 内容

(1) 講演

『ジビエ料理で野生鳥獣被害を新たな資源に』

藤木 徳彦氏 (一般社団法人日本ジビエ振興協会 代表理事)

『生産者と顔の見える関係を通じたレストラン「やさい家めい」のメニュー展開』

関澤 賢治氏 (株式会社イートウォーク 商品開発部部長)

『中国料理「南国酒家」のフェアの取組みを通じた産地との継続的な連携』

宮田 順次氏 (株式会社南国酒家 代表取締役社長)

『惣菜事業者「知久屋」による農業への企業参入がもたらす地域の産地形成』

小澤 勇夫氏 (株式会社知久 総務部部長)

『じいじとばあばの元気！を支える大衆割烹「庄や」と庭先集荷の取り組み』

大島 雪子氏 (福祉とまちづくりのNPO法人笑顔の里 理事長)

(2) 会場参加者との意見交換

【パネラー】 藤木 徳彦氏

関澤 賢治氏

宮田 順次

氏 小澤 勇

夫 氏 大 島

雪子氏

【コーディネーター】

唐木 英明 (公益財団法人食の安全・安心財団理事長、東京大学名誉教授)